



白楊ヶ丘同窓会東京支部長

第76期 昭和49年卒

白川正広

つい数か月前には予想もできなかった「新型コロナウイルス」の影響で、日常生活に何かと支障が生じていますでしょうか。逆境下にあっても、会員の皆様はご健康で過ごされているものと拝察いたします。

同窓会とは、一つのところに集い、世代間の距離をなくして、大いに語り合う場というものですので、その全てが「三密」に抵触します。

東京支部の活動に関しても、4月の「評議員会」は急遽「書面審議」とし、ご意見をメールや郵便で受け付けるという様式に変更いたしました。幸い、評議員の皆様のご賛同をいただき、予算等は承認されました。引き続き、役員的主要メンバーでリモート会議を行うなかで、本年度の各行事について次のように取り決めました。

① 6月に予定していた新人歓迎会は中止にしました。

② 11月に予定していた親睦大会も中止にしました。

③ 「会報」は、このとおり、発送作業などで集まる機会を最小にし、頁数を削減するなどの工夫をしつつ発行することにしました。

青春の時を同じ土地、同じ校舎で過ごしたという、期を超えた共通の価値を共有し、年1回の再会する機会でもある「親睦大会」は中止にせざるを得ませんでした。が、ぜひ、40年以上にわたり受け継がれてきた東京支部の貴重な伝統は、あらためて、コロナ後に、多少、形を変えてでも維持発展させていくべきだと考えております。例年「50歳の期」が親睦大会の企画運営を担当し、次の期にバトンタッチするという仕組みにしたがい、今回は「90期」の皆さんにお願いする予定でした。活躍の場がないままです。引き続き、来年の企画に関わってもらいたいというのが役員共通の思いです。

苦しい時にこそピンチをチャンスに変える知恵が出るものだと言われます。今後の同窓会の運営などに関しまして、ぜひ、会員の皆様からの前向きなご意見などごいただきながら、変化する状況に適切に対応していきたいと考えております。引き続き、皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大による

自粛要請を受けて、活動が出来ていません。

今年投稿頂いた原稿は来年で以降掲載させて頂きます。

※感染防止対策として業者に委託しているため通常と違う形でお届けします。

※昨年度より、ご逝去された方のお知らせは東京支部公式サイト「会員のページ」に掲載させていただきます。

会報編集部



物故者情報



同封したハガキについて

皆様からの声をお寄せください



例年であれば「払込取扱票」を使って、会員短信等を記載することが出来ますが、本年度は、同封していません。

このため、会員短信のほか、東京支部の活動へのご意見などをお寄せいただけよう、ハガキを同封させて頂きました。お書きいただきましたら、そのまま郵便ポストに投函してください。多くの皆様からのお便りをお待ちしております。

第43回 白楊ヶ丘同窓会 東京支部 親睦大会 報告

■開会宣言

白楊ヶ丘同窓会東京支部長76期
白川正広氏より、開会宣言及び
ご挨拶。

■同窓会歌斉唱

旧制函館中学校に入学された方
々と、在学中、音楽部に在籍し
ていた方々にご登壇いただき、
本日の出席者全員により同窓会
歌が斉唱されました。



同窓会歌斉唱

白楊ヶ丘同窓会東京支部、第43
回親睦大会は2019年11月9
日(土曜日)13時より、グランド
アーク半蔵門にて盛大に行われ
ました。

今大会の幹事は89期生。
「故郷を思い、気の知れた仲間
と、美味しいお酒と音楽で笑顔
あふれる同窓会」をコンセプト
に企画、実行されました。

■会場準備

89期と理事会メンバーが集合し、
会場の設営、受付準備を開始し
ました。

集まったスタッフの朝礼では配
布物整理、受付の準備、会場設
営へと役割を班毎に分担しまし
た。

展示物の展示、マイクテスト、
ゲストの入場ルートの確認、そ
して受付では受付テーブルへの
名札並べ、両替の準備等、来場
される方々を迎えるための準備
に追われました。

■受付開始

同窓生が続々と来場。受付作業
に追われました。

■司会者挨拶

定刻通り開会。総合司会は78期
岡部あさ子氏。

ミニコンサートです。ギターを

担当する幹事期89期の池田靖司
氏が、同窓会のために一肌脱い
でくれました。

■コンサートプログラムは、

①蘇州夜曲 ②月にうらバイ
③Over the rainbow ④チャイ
マー ⑤ヘブライズマイホー
ム ⑥見上げてごらん夜の星を
の計6曲。

今回の親睦大会に向けて、池田
靖司氏が老若男女に合わせたナ
ンバーを選曲。

会場の同窓生は老若男女を問わ
ず美味しいお酒も相まって、そ
れぞれが故郷への想いや、学生
時代の若かりし日に思いを馳せ
ながら、素敵なナンバーに酔い
しました。

最後の曲「見上げてごらん夜の
星を」が始まる時は、今回イ
ベントの目玉である、幹事期89
期桐山啓子氏の演出によるペン
ライトの登場。会場全員に配ら
れたペンライトで、会場の一体
感を演出。幻想的な空間をお楽
しみいただき、フィナーレとな
りました。



ギター演奏と
ペンライトの
フィナーレ



会員短信

令和元年8月以降の会費の払込票と
返信はがきのメッセージから



●葛西善一郎(S16年卒43期)

右肘を骨折し、残念ながら出席
できません。現在リハビリに励ん
でいます。

●渡邊 紘一(S17年卒44期)

腎臓手術などで昨年暮れから3
月までに3回入院。まだすつきり
しません。東京は無理でも函館に
は行けるかと思っています。もう
一度行きたいです。

●白幡 匡(S19年卒46期)

なつかしい会報をいただきありが
とうございます。函館の思い出に
ひたっております。函中の同窓会
の益々の発展を祈っております。
役員の方々のご苦労に感謝して
おります。

●多和田昭二(S19年卒46期)

第89期の幹事の方々御苦勞様で
す。ご盛会を心よりお祈り申し上
げます。

●丸山 久男(S19年卒46期)

92歳まで老化して、やっと生きて
いるという状態です。皆さんによ
ろしくお伝えください。

●渡辺 保二(S19年卒46期)

大正から令和の四つの時代につか
てなんとか生き続けてることに感
謝・感激です！

●堀田 善和(S20年卒47期)

今年も欠席しますが、御盛会を

祈つて居ります。白楊だよりの「校
歌誕生雑話」での藤原先生の事、
懐かしく拝読しました。先生は函
中5年の時の担任の先生。大変
お世話になりました。

●山下 二郎(S25年卒52期)

前回と同様、奇しくも職場のOB
会と同日となり欠席致します。

盛会をお祈り致します。同期の
東京集會も徐々に人数が減つてい
きます。

●遠藤 宏(S27年卒54期)

いつも同窓会のご案内と「東京白
楊だより」を送っていただき、感謝
しております。今年は張り切つて
参加したいと思ひます。よろしく。

●金谷 稔(S27年卒54期)

最近数年ぶりに上京。東京の古い
駅の長い階段に難儀し、脚力の衰
えを痛感した。その意味で会報の
会場案内図に添えられた「エスカ
レーターが長い」や「エレベータ
ーから」の注釈に非常に心温ま
るものを感じた。

●小宮山恵三郎(S27年卒54期)

男女共学／地域制度の激変の中、
生まれた。流転の相(校歌)を
唱和した頃を懐かしく想い出し
ました。同人雑誌に藤原直樹先
生の格調高い漢詩の寄稿を頂き
ました。

●齊藤 弘孝(S27年卒54期)

「東京白楊だより」楽しく拝見致
しました。ありがとうございます。
増々の御発展をお祈り致します。

■インフォメーション

白川支部長より、来年度発行の「白楊だより43号」の原稿の募集を行いました。

またイベントを盛り上げていただいたキッコーナズのCD販売についてもお知らせがありました。

■新入会員のご紹介

平成30年卒業の新入会員のご紹介がありました。

■次期幹事のご紹介

次期の幹事期である90期を代表して、鹿野祥子氏からご挨拶がありました。



次期幹事期90期の皆さん

■校歌斉唱と三本締め

恒例の校歌斉唱は、今回のイベントを企画した幹事である89期生と、来年度の企画を担っていた90期の皆さんが登壇し、今日の出席者全員によって、声高らかに行われました。その後、幹事期である89期の代表、汐見和人の音頭で三本締めを行い、午後3時半に閉会となりました。今回の親睦大会運営にご協力いただきました、理事会・評議員

メンバー、各期有志の皆さまに厚くお礼申し上げます。

また、当日運営に関するものは反省改善してまいります。今年度はコロナウィルスの影響で、残念ながら親睦大会は中止となりましたが、次期開催に向け、更に大先輩から若い期の皆さまが楽しく有意義となる親睦大会を企画していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(汐見和人 第89期)

11月21日に予定
されていた

第44回 大会中止 のお知らせ

親睦大会の次期幹事担当に備えるべく、昨年度の大会で久々に同期が集まりました。卒業アルバムを持ち寄つての思い出話は本当に楽しく、そこからスタートしてお互い協力しながらの準備活動に入った矢先、密を避ける必要が迫られました。卒業アルバムを持ち寄つての思い出話は本当に楽しく、そこからスタートしてお互い協力しながらの準備活動に入りました。

一年持ち越しで来年度再チャレンジとなりますが、皆様や自分たちの安心・安全を第一に考えながら、少しずつ準備を整えていきたいと考えています。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

(第90期 鹿野祥子)

新人 歓迎会 次回に期待！

第3回新人歓迎会の写真から



122期の皆様、ご卒業おめでとうございます。東京での新鮮で刺激的な日々の一コマ、のはずがその前に想定外の非日常がやってきて、いろいろなことがお預けになってしまいましたね。

新人歓迎会も残念ながら中止となり、来年度の状況もまだ想像はできませんが、123期の方々と一緒にお迎えできる場を何らかの形でご用意できたらと思います。函館の近況も伺いたいですし、ご自身の思いなども気軽に話していただけたら嬉しいですね。

(第90期 鹿野祥子)

●松田 守正(S27年卒54期)

昨年は54期生はひとりきり。不由自主な体で多大のご心配をおかけしました。現在リハビリ施設に送迎車利用で加療しつつ、週2日は同施設でボランティア活動をしております。何とか自力で参加したいとリハビリ中です。よろしく!!

●吉川 猷子(S27年卒54期)

・函館を離れ五十年の今に思ふ開港地の気風身に深く持つ
・写真家の友は家業をつぎひか

●吉岡写真館の呼名なつかし

●津田 恭一(S29年卒56期)

年相応に元気に暮らしています。小生達と同じ様に先輩の参加者も少なくなりましたね。盛会を祈ります。

●及川 守(S32年卒59期)

同窓生でN響トランペット奏者(長谷川さん?)を楽しんで、Eテレのクラシック音楽館を見ています。棒二森屋の閉店を知り残念です。

●鏡原 澄子(S32年卒59期)

函館中部高校の校歌、大好きです。私の在学中に藤原先生、酒井先生在職中でした。皆様のご活躍を期待しております。

●内藤 尚(S33年卒60期)

三三三メンバーは今年(2019年度)80歳を迎えますが、東京か函館では毎年集会を行います。皆、ほんとに若いんです。

●長澤 明子(S33年卒60期)

懐かしい函館の雰囲気におおきいたのは山々ですが、思うようにシャキシャキ出来そうにないのが不安で。心から盛会を祈っております。

●所明彦(S33年卒60期)

幹事の皆様方、大層ご苦労さまです。小生、足の衰えに加え耳が相当遠くなり、コミュニケーションがうまくいきません。ご盛会をお祈り申し上げます。

●児島美也子(S53年卒80期)

両親を24時間見守りの高齢者住宅に入居させることが出来たので、少しゆとりが出てきました。またみんなでお会いできることを楽しみにしています。

●小滝亮太郎(S53年卒80期)

還暦記念に「マックドフラッグ」という小説を書きました。Amazonの電子書籍にアップしたので、ハードボイルドが好きな方は一読ください。

●増田 真博(S53年卒80期)

昨年4月より高松へ単身赴任中。コンビニよりうどん屋が多い環境を満喫しています。

●山口 淳(S53年卒80期)

来年、定年を機に北海道へ戻る予定です。

●中里 孝史(S60年卒87期)

みなさん、元気になってますか?お互い体を大事にしましょう。ご盛会であることを念じております。

2019年度収支実績および
2020年度予算（単位：円）

		2019実績	2020予算
収 入	年会費収入	1,434,000	1,500,000
	大会費収入	1,384,000	1,400,000
	寄付金収入	279,200	270,000
	会報広告収入	65,000	70,000
	その他	3	0
	合 計	3,162,203	3,240,000
支 出	大会関連費用	1,489,068	1,500,000
	会報関連費用	831,577	785,000
	その他事業	-5,849	95,000
	諸会議費	240,357	245,000
	通信運搬費	174,813	185,000
	本部派遣費	139,479	135,000
	その他運営費	282,226	275,000
	予備費	0	20,000
	合 計	3,151,671	3,240,000
	差引収支残	10,532	0
	次期繰越剰余金	5,160,943	5,160,943

2020年度評議員会報告

2020年度の評議員会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言下にあったため、書面協議とさせていただいた。その結果、以下の(1)～(4)につき、すべて承認を頂いた。

(1) 2019年度事業報告

親睦大会、新人歓迎会、東京白楊だよりの発行、情報発信機能の充実、渉外活動等、例年通りの活動をおこなった。

(2) 2019年度収支決算報告

差引収支残は10,532円の黒字となった。また、真船監事より監査の結果、収支決算書が正しいことを確認したとの報告を頂いた。

(3) 2020年度事業計画案

親睦大会、東京白楊だより、支部活動の活性化他6項目に関する事業計画を予定している。(親睦大会はこの時点では開催予定であった。)

(4) 2020年度収支予算案

昨年度の収入・支出額それぞれの実績を参考に、親睦大会収入の増額と諸経費の節減を織り込み、収入支出とも324万円の予算とした。

(5) 役員を選任及び異動の件

これまで長年にわたり理事を務め、東京支部の活動に長年貢献されてこられた69期梅田やよい氏が退任された。また、評議員としてご貢献いただいた58期坪田憲俊氏が退任された。さらに、会計業務については4年前から71期加納元雄理事が担当していたが、2019年度期中より81期の渡辺由美子理事が担当となった。なお、会計は急な交代のため、81期の松永が会計業務を補佐する。

(松永久(81期)記)

年会費・ご寄付のお支払いが便利に！

白楊ヶ丘同窓会東京支部は、会員の皆様からお支払いいただく年会費やご寄付により運営されており、年会費は3000円となっておりますが、今年度は、親睦大会の開催ができず、会報もページ数を縮小して発行するなど、例年通りの活動ができないことから、毎年会報に添えてお送りさせて頂いている「払込取扱票」は同封しておりません。しかしながら、支部の活動にご理解、ご協力を頂けるようでしたら、以下4行に口座を開設しておりますので、お振込みいただけると幸いです。

なお、お振込みの際には、下記の注意事項をよくお読みの上、ぜひご利用ください。(会計担当81期 渡辺由美子)

① 銀行口座名称：「白楊ヶ丘同窓会東京支部」

みずほ銀行 溝口支店 普通 2712051
三井住友銀行 鎌倉支店 普通 0202759
三菱UFJ銀行 用賀出張所 普通 0107761
ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキュー)店 当座 0124291

② 振込人氏名欄はスペースを空けずに、「期→卒年→氏名」の順でご記入ください。

例：81S54ワタナベユミコ

③ 振込手数料が必要な場合は、振込人負担でお願いいたします。

ご寄付御礼

昨年度は43名の方からご寄付を頂戴いたしました。ここにお名前を掲載し、御礼に代えさせていただきます。

44期 渡辺鑑一	53期 山内(富田)美年子	59期 今井宗隆/新田正勝/真船昭/谷口雄二郎/及川守/桶直義/笠原静雄/前波(中村)翠子/加藤(鈴木)瑠美/浅間邦彦
45期 中野忠彦	54期 山田幸平/齊藤弘孝/吉川猷子/佐藤(片山)俊子/金谷稔	63期 土橋道子
46期 渡辺保二/多和田昭二/白幡匡	55期 加藤富蔵	64期 二宮信子
47期 堀田善和	56期 大西孝司/津田恭一/原口(槻)久江/南卓夫	82期 中山千夏子
48期 山科喜一/藤谷千代三	小竹(滝田)嘉子	85期 柳川清尊
49・50期 下河原修	57期 木村嘉男/永野巖/広田洋吉/伏見俊満/	
52期 山下二郎	58期 山本善治/川崎洋子/八嶽義郎	

(敬称略)

